

第174号

## ほほえみの会

2011.12.11

「小児ガンと診断されたときに親が見るビデオ」が完成し病院に納品をしました。ほほえみの会の皆さんや、こども病院で治療を受けている方には無料で配布をしますので外来か病棟で医療スタッフにお申し出ください。

(DVDは北5病棟に保管してあるようです)ビデオのことは新聞各紙で取り上げていただきました。毎日新聞、朝日新聞では全国版で記事を書いていただき全国から問い合わせが来ています。

(新聞記事はHPに載せておきます)患者の親だけでなく、がんセンターや病院、さらに看護学校から配送希望が来ています。こうしたビデオがこれまでになく教材として使いたいという事です。

一般の方でも希望者には配送料と会への寄付金、合わせて千円でお送りしています。

郵便振替 加入社名 「ほほえみの会」  
口座番号「00870-3-158976」  
郵便局で千円の振込みをしていただくと私の家に連絡が来ますのでお送りします。DVDの管理と配送は制作した朝日メディアブレーンに依頼をしています。

<197回 11/13ほほえみの会>  
2名の参加でした。

<198回 12/11ほほえみの会>  
7名の参加でした。県立総合病院で治療を受けている方も参加されました。

- ▽ 中学3年、女の子。甲状腺がん。県立総合病院に入院、手術。2ヶ月後に退院。現在は学校に通っている。  
地元の総合病院2箇所を経てこども病院を紹介されたが、中学生の甲状腺がんということで県立総合病院へ。

県立総合病院は中学生も大人扱いで、本人を前にいきなり病名告知。本人は病気を受け入れられないでいるが、医師にはまるで子どもへの配慮がない。また医師は病状について何も教えてくれない。CTやMRI画像も見せてくれない。手術でどこまで取るのかと聞くと、全部だと言うだけ。聞きたいことも本人の前では聞けない。検査結果の説明もないし娘の体がどうなっているのか心配。また、ナースも子どもに「がんだから夏休みを待たずにすぐに入院するんだ」と平気で言ったり、小児慢性の事を聞いても「そんなのありません」と言うし、子どものがんについて知らない。医師は優秀だし、手術も上手くいったので感謝はしているがもっとコミュニケーションをとりたいし、親の方の心のケアが出来ていないのが悩み。また、学校にどう話していいのか悩む。学校の先生は「年寄りのがんは進行遅いけど若い人は早いぞ」などと本人に平気で言う。首の手術跡も本人は気にしていてテープを張っている。手術あとはメイクで隠せるので専門家に相談をされたらいいのではないかとといった意見も出ました。

- ▽ 骨髄性白血病を克服、19歳となって看護学校へ通う。本人は元気だが晩期障害が不安。こども病院を卒業して地元の総合病院を紹介されていったが長時間待たされたうえで専門外と言われた。どこの病院に行ってもいいかわからない。こども病院の長期フォローアップ外来で長く見てほしい。

～皆さん良いお年をお迎えください～

次回 は1月8日(日) 11時からです  
ほほえみの会 代表 池田恵一 TEL054-247-9560  
E-mail アドレス k\_likeda@yahoo.co.jp  
ホームページ <http://www.geocities.jp/hohoeminokai/>